

都学歯 広報

目次

●会長挨拶	2
●平成25年度 役員職務分掌	3
●新役員就任挨拶	3
●学校(教育)に関わる用語 ②	4
●最近、気になること その1	5
●ダウン症や自閉症の子どもたちに想うこと	5
●地区学校歯科医会からのメッセージ	6
●町田市学校歯科医会／向島学校歯科医会	7
●地区ニュース 杉並／芝・麻布赤坂	8
●こんなことが「学校歯科医執務記録」になります	8
●学校歯科医執務記録	9
●本会のホームページをリニューアルしました	10
●トピックス 平成25年度第1回予算決算委員会／	11
●平成25年度第1回参事会／第1回代議員会	11
●平成25年度 ブロック別学校歯科医研修会日程	11
●平成25年度 各種大会日程	12
●会務報告／計報	12
●第26回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会	12
●のご案内	12

TOGAKUSHI KOHO



社団法人東京都歯科医師会
平成24年度ポスターコンクール優秀作品
江戸川区立篠崎小学校
野田 柚花



一般社団法人 東京都学校歯科医会
〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
-0073 TEL. 03-3261-1675
FAX. 03-3222-6528
<http://www.tasd.or.jp>
E-mail: tasd@tasd.or.jp
発行人／鈴木 博
印刷／一世印刷株式会社

社団法人東京都学校歯科医会は、東京都の認可を受けて、平成25年4月1日に一般社団法人への移行登記が完了し、「一般社団法人東京都学校歯科医会」へ移行いたしました。

107

2013. 6



ご挨拶

一般社団法人 東京都学校歯科医会

会 長 川 本 強

学校歯科医の皆様そして学校歯科保健にお力添えを頂いております皆様方、常日頃より東京都学校歯科医会にご高配を賜りまして、心よりお礼申し上げます。社団法人東京都学校歯科医会は平成25年4月1日より一般社団法人東京都学校歯科医会に移行致しました。業務内容におきましては大きな変更はございませんが、公益性がより一層求められます一般社団法人組織となりまして、改めて身の引き締まる思いでございます。

学術事業の紹介をさせていただきます。まずは仕上げに入ります味覚教育資料の作成がございます。食育の中でもとりわけ私達に関連の深い味覚の調査・研究を行い、児童・生徒への味覚教育資料を作成したいと思っております。すでに各校・各校種での味覚調査を実施致しまして順次統計データ入力を行っている所でございます。次に、ご協力をお願いを始めさせていただきますが、各地で作られました学校歯科保健啓発資料を集積し、東京都内における学校歯科保健学術資料集を作成したいと思っております。しかしこれには著作権を侵害しない配慮と各地区のご理解ご協力が不可欠であります。

事業部門では学校歯科保健功労者表彰を昨年度より始めました。学校歯科医の方々への報奨に対し、学校歯科保健活動に大いなる手を差し延べて頂いているの方々への表彰が少ないことから、学校歯科医以外の方々を東京都学校歯科保健研究大会において表彰することに致しました。いわゆる組織活動にご尽力を頂いている方々であります。また昨年度より学校歯科保健活動に関与して頂いている方々のスキルアップを目指して、学校歯科保健推進校を2校指定致しました。指定当該校はもとより指定校周辺にまで学校歯科保健の技量向上を推進して行く所存でございます。

これからも学校歯科保健活動に携わっておられます方々、お一人お一人のお力添えを賜りまして、東京都学校歯科医会は児童・生徒の心身共に健全なる発育に、大きく深く関与して参りたいと思っております。

平成25年度 役員職務分掌



総括

川本 強
(会長)



副総括・事業

由井 孝
(副会長)



学術

小嶋 憲
(副会長)



専務

鈴木 博
(専務理事)



渉外

高野 直久
(理事)



総務 (チーフ)

渡邊 実
(理事)



総務 (法人改革)

橋本 健一
(理事)



総務 (広報・HP)

末高 英世
(理事)



会計 (チーフ)

長沼 善美
(理事)



会計

高橋 裕幸
(理事)



事業 (チーフ)

吉澤 雄孝
(理事)



事業

酒井 克典
(理事)



事業

高橋 文夫
(理事)



事業

中村 卓志
(理事)



学術 (チーフ)

長井 博昭
(理事)



学術・事業

東川 輝子
(理事)



学術・私立学校対応

澤田 章司
(理事)



学術

牧野 寛
(理事)



監査

難波 昭一
(監事)



監査

荒木 良子
(監事)



事務局

事務局長
海保由美子



山内 近子

◆ 新役員就任挨拶 ◆

理事 高橋裕幸

この度は、東京都学校歯科医会理事という大役を仰せつかりました葛飾区の高橋裕幸と申します。新参者で不慣れな点多々あり皆様に教え乞う場面も多いかと存じますが、一歩一歩と前に進むよう精一杯努力して、職責を果たして参りたい所存です。よろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

学校（教育）に関わる用語 ②

東京都教育庁 歯科保健担当課長

五十里一秋



第2回目は「保健活動編 Part 1」です。

【学校保健安全法】

学校における児童・生徒等及び職員の健康保持増進を図るため、学校における保健管理に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童・生徒等の安全確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とした法律。学校保健法が1958年に施行され、2009年に学校保健安全法に改題されて学校における安全管理に関する条項が加えられた。

【学校保健計画】

児童・生徒等及び職員の心身の健康の保持増進のため、児童・生徒等及び職員健康診断、環境衛生検査、児童・生徒等に対する指導、その他保健に関する事項についての計画。学校安全計画と別に立案する。

【学校安全計画】

施設設備の安全点検、児童・生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員研修に関する事項についての計画。学校保健計画と別に立案する。

【学校感染症】

学校で集団生活を行うため、感染症を起こした児童・生徒等を出席停止にして他の児童・生徒等の感染を起こさないよう管理することが求められる。学校保健安全法施行規則で対象となる感染症が定められており、それらを学校感染症という。それぞれの疾患で出席停止期間が定められている。

第一種

感染症法の第一類、第2類の疾患（結核を除く）

第二種

飛沫感染するため、学校で流行する可能性が高い感染症。インフルエンザ、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜炎、結核、髄膜炎、細菌性髄膜炎。

第三種

飛沫感染はしないが、学校で流行する可能性が高い感染症。腸管出血性大腸菌感染症、流行性角膜炎、急性出血性結膜炎等。

【学校医】

学校の委嘱を受け、その学校の衛生事務や児童・生徒等の健康管理上の検査等を行う医師。学校保健安全法には、学校医、学校歯科医、学校薬剤師が規定されている。学校歯科医は歯科医師法による歯科医師としての身分と学校保健安全法に定められた身分とを併せ持つ。

【ティーム・ティーチング TT】

同一の集団に、複数の教員が役割分担のもとに協力して指導すること。教員の得意領域等特性を生かす。保健教育では学校歯科医の関与が期待される。

【自尊感情】

自分がかげがえのない存在として肯定的に捉える気持ち。保健教育では児童・生徒一人一人が自己に自信を持って新たなことや困難なことに挑戦しようとする意欲を高めることが重要である。

ダウン症や自閉症の子どもたちに 想うこと

学術担当理事 澤田 章司



増加する健康異変

新聞報道によると、環境省は近年の健康異変の増加を受けて平成22年から、母親の胎内に蓄積された化学物質が子どもの発育や健康に与える影響について調査に乗り出しました。妊婦10万人から血液や尿を採取して150種類以上の化学物質を分析し、その後の子どもの健康状態を継続的にチェックしていきます。

血液や母乳内に含まれるビスフェノール A などの内分泌かく乱物質や、ダイオキシン類、水銀、カドミウム、ヒ素などの測定をし、①低体重などの発育状態 ②ダウン症などの先天異常 ③自閉症や学習障害、注意欠陥・多動性障害（ADHD）④アレルギーやアトピーなどの発症を子どもが12歳になるまで調査するとのこと。

また、国際先天異常監視機構の調査では、ダウン症や尿道下裂などの先天異常はこの25年間で2倍に増加しているとの報告もあります。

私たちの体内に化学物質が蓄積

高度成長時代には様々な公害が起り、様々な病気が発症しました。有機水銀中毒による水俣病、カドミウム中毒によるイタイイタイ病、硫酸化物に起因する四日市喘息など多くの公害病が発症した過去があります。

では、近年多く見られるこれら低体重児・ダウン症・自閉症・アトピーなどはどう捉えたら良いのでしょうか。工業優先による化学物質の排出、害虫駆除の為に農薬散布あるいはプラスチック類多用の便利快適な生活の追求などによる大きな代

償なのではないでしょうか。私はこれらもある意味で公害病と捉えています。健康と思われていた夫婦でも、いつ何時この様なお子さんが生まれてきても全く不思議ではないのです。残念ながら今日、このリスクを全国民が持ち備えてしまったのです。つまり、私たちの体内には知らず知らずのうちに化学物質が蓄積され、その影響が胎児にまで及んでしまっている可能性があるからです。

現場から考えること

私も臨床や学校現場など色々な場面で、この様な障碍（敢えて‘害’ではなく‘碍’を使用しますが）、多くの場合そのご両親はとても一生懸命に誠実に、時には楽しんで子育てをされています。健常児の親御さんにも見習って欲しいと思うことさえあります。

障碍を持った子どもを育てるということは大変な苦勞もありますが、子育てを楽しんで行えるようにしていく為には社会が応援しなければなりません。その夫婦の問題で発症したと考えるのではなく、公害によって発症したと考えるべきと思うからです。しかしながら日本にはまだまだ偏見を持った人々が沢山います。

ダウン症の子どもも自閉症の子どももとても可愛いです。接すればきっと分かります。本人も両親も堂々と生きて行ける社会の実現に向け、皆が理解し応援して行くことが重要と考えています。

地区学校歯科医会会長からのメッセージ

町田市学校歯科医会

会長 澤 正宏



町田市歯科医師会30年誌によると、「町田市学校歯科医会は昭和22年4月1日、戦後の学制改革、六・三制の発足と共に、南多摩群町田町、南村、忠生村、鶴川村の一町三村における小学校6校、中学校4校に加え分校7に、10名の歯科校医が学校歯科保健の職務について活躍され、混乱の世相の中でも、その機運はまさに学校歯科医会の胎動の感あり」と当時の笠井会長が記しています。翌23年に南多摩学校歯科医会の設立が達成され、その後、堺村を合併し、昭和33年に現在の町田市が発足しました。正式には昭和38年度より、町田市学校歯科医会と改称し学校保健行政に協力する体制が整いました。

町田市学校歯科医会は、平成25年4月に、第67回の総会を開催し、現在も歴史ある会を継承しています。歴代の会員には、都学歯での活躍もめざましく、都学歯会長を務めた咲間武夫先生（昭和59～62年）を始めとして、何名もの先生方が理事を勤められ、東京都学校歯科医会においては功名高き地区と自負しています。

記録によると、昭和33年の町田市の人口は6万人、小学校は12校、中学校6校、分校が1校だったそうです。20年後の昭和54年には人口28万人、小学校37校、中学校14校と飛躍的に増加しています。そして現在55年後の平成25年には、人口約43万人、小学校42校、中学校20校となっています。京王線の多摩境を中心とする小山地区、田園都市線の南町田を中心とする地区で人口が急増し、新設校・大規模校が増える一方、以前の団地ブームで賑わった地区では、廃校となる学校も出てきています。町田市も他地区同様、超高齢・少子化社会が迫っていますが、まだ児童生徒数は維持され、学校歯科医会は、都立高校の担当医も含め69名、名誉会員を含め88名の会員で組織されています。小中学校の児童生徒約34,000人、高等学校の生徒約4,200人の学校歯科保健に貢献すべく会員



一同頑張っています。

町田市学校歯科医会の年間事業としては、年1回の総会、月1回の理事会、学術講演会（隔年で外部講師と会員発表）新規学校歯科医研修会を行っています。その他にも、学校保健活動に利用するため、春期歯科健康診断のデータの公表や、町田市学校保健会会誌への投稿も行っています。対外的には、町田市学校保健会の研究大会、総会、役員会への参加、全国及び東京都学校歯科保健研究大会への参加、多摩ブロック別研修会の開催協力と参加などに尽力しています。平成22年11月には、町田市健康福祉会館において「ブロック別研修会」が開催され、多摩地区から100名近くの参加があったことには感謝申し上げます。

さて、町田市学校歯科医会の特徴と言え、春期健康診断の「応援医制度」だと思います。当会では、前年度の12月中に次年度の学校歯科医を推薦し、各校医が担当校と調整の上、次年度の健康診断日程を決めます。町田方式では、各学校半日で健康診断を終了させるために、生徒人数に応じて応援医を決めます。例えば、800人以上の大規模校には、担当医以外に学校歯科医会会員3名が応援医として参加することになります。応援医日程表は教育委員会から各校に通達され健康診断が実施されます。この方式のメリットは、複数の校医が健康診断することで診断結果が平準化されること、規模の異なる学校での健康診断人数の不公平さが無くなることです。町田では長年、この方式となっており、健康診断の日程調整と応援医の振り分けなどで、新年早々役員が頭を痛めています。しかしながら、現体制は会員や学校側にも好評であり、歴史ある町田市学校歯科医会の伝統を守っていくよう、役員一同、力を合わせて参りたいと思います。

向島学校歯科医会

会長 三好 克則



向島学校歯科医会の歴史は古く、向島歯科医師会と時を同じく別組織として誕生しました。大正年間の東京府南葛飾郡歯科医師会（東京府歯科医師会南葛飾郡支部）にその源を発します。南葛飾郡とは東京府下5郡の一つで、亀戸、小松川、砂町、大島、綾瀬、小岩、寺島、吾嬬、金町など、現在の江戸川区、足立区、江東区、葛飾区、墨田区にわたる地域でした。

昭和3年第1号会報で、会員数は105名との報告があります。また、同年6月4日には早くも第1回ムシ歯予防デーが実施されています。

昭和7年、東京に区制がしかれ南葛飾郡は東京市に併合されて向島区が誕生しました。その東京市の市域拡張に伴う行政区画の変更により、翌8年、新生向島歯科医師会が、同時に向島学校歯科医会が、各々初代会長のもと誕生し、戦中、戦後の混乱期を乗り越え現在に至っております。

向島歯科医師会は、東京スカイツリーで一躍有名になった墨田区の北部に位置し、会員数73名（第1種会員59名、第2種会員1名、終身会員13名）の小さな会であり、向島学校歯科医会は、幼稚園4園、小学校13校、中学校7校、高校4校、特別支援学校1校の学校歯科医28名および、保育園嘱託歯科医22名を併せた、総勢50名で活動しております。

事業内容につきましては以下の通りです。

1. 保育担当者研修会
2. 春季歯科健診事業
3. 歯と口の健康フェスティバル

4. 行政、本所学校歯科医会との懇談会
5. 各種学校歯科保健事業への参加
6. 臨時歯科健診事業
7. 学校巡回指導
8. 区の学校保健会への参画

中でも、学校巡回指導は昭和50年から続く歴史ある事業で、向島歯科医師会、墨田区教育委員会の協力のもと、毎年2校ずつ小学校を訪問し、口腔衛生に対する意識向上を目的として実施してまいりました。

口腔衛生に対する知識を普及すると共に、予防の重要性についても充分理解を深められるよう、平成8年からは歯科衛生士による講話、ブラッシングの実施、指導を中心としたわかりやすい内容で行っております。

授業の一環として、給食後の5時限目を利用し、実際に口腔内細菌の動画を見せたり、染め出しをしてブラークがその細菌の集まりだということを生徒自身の目で確認させたりすることで、口腔ケアの意識向上を図っています。

また、むし歯や歯肉炎の予防といった視点だけでなく、杉並区での取り組みのように、規則正しい生活習慣を守ることがいかに感染症予防や全身の健康につながるかを理解してもらえるように努めています。

本会が75歳定年制を導入して3年になりますが、今後の会員数減少は明白であり、その対策も講じていかなければなりません。

未入会対策も含め、若い先生方の歯科医師会への入会が切に望まれます。まだまだ、課題の多い毎日ですが、これからも向島学校歯科医会をよろしく願い申し上げまして、本会の紹介に代えさせていただきます。

歯と口の健康に関する作品の審査会

杉 並

平成25年5月16日に杉並区役所において、第42回歯と口の健康に関する作品の審査会がおこなわれました。応募作品数は、図画・ポスターの部と作文・標語の部の応募作品を合わせて2009点にもおよびました。

選考は、区内小・中学校より8名の先生と区保健所より1名、杉並区学校歯科理事7名で厳正に審査され、応募作品いずれも児童・生徒の口腔保健に対する意識の高さに感銘をうけました。入賞者総計48名を選出し、優秀作品は東京都歯科医師会主催コンクールへ推薦されます。
(吉野勝久)



港区芝歯科医師会学校歯科医部会・ 港区麻布赤坂歯科医師会学校歯科医会 合同学術研修会

芝・麻布赤坂

今回は港区立港陽中学校学校歯科医の江里口康博先生に「この頃、中学で気にかかることー未処置歯と歯肉炎」と題して平成25年1月30日に港勤労福祉会館で講演いただいた。港陽中学校は小中一貫校だが、実際に中学に上がる際に、親がよく管理している生徒が私立中へ抜けて生徒数が半減するそうである。小学校からの歯科健康診断票を見直した結果、乳歯う蝕の数と永久歯う蝕の数の相関は低いと分析しておられた。DF



値が大きい生徒は、清掃状態が悪いとは限らず、個別対応が必要と感じておられた。現職の中学校学校歯科医の大変貴重な話が聞けた。
(長井博昭)

● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になりません。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

9 ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。

認 印 欄	(学校長)
-------------	-------

年 月 日

学 校 歯 科 医 執 務 記 録

		執務者氏名	㊟
執務日時	月 日 () 午前・午後 全 日	執 務 場 所	学校, 診療所 (来訪電話等), 研修会, 大会, その他 ()
執 務 の 概 要			
項 目	記 事		
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他			
2 定期健康診断			
3 就学时健康診断			
4 臨時健康診断			
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他	特 記 事 項		
6 学校保健に関する研修会, 大会等			
7 授業参加			
8 学校行事に参加			
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他			

注意事項

- 1 学校歯科医は、職務に従事したとき、その状況をこの執務記録に記入し、校長に提出してください。
- 2 この執務記録は、執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも、1枚にまとめて記入してください。
- 3 学校以外の場所で執務した時は、出校時に記入してください。

トピックス////

平成25年度第1回予算決算特別委員会

平成25年4月25日（木）15時より歯科医師会館3F会議室において、平成25年度第1回予算決算特別委員会が開催されました。

松浦委員長が開会を宣言し、川本会長が挨拶をされ、鈴木専務理事が第1回代議員会日程について報告をし、協議事項に入りました。

第1回代議員会の議案について

第1号議案 平成24年度事業報告

第2号議案 平成24年度収支決算並びに財産目録



いずれも承認され、閉会となりました。

トピックス////

平成25年度第1回参事会

平成25年5月23日（木）16時より歯科医師会館3F会議室において、平成25年度第1回参事会が開催されました。渡邉理事の司会のもと由井副会長が開会を宣言し、川本会長が挨拶を行いました。つぎに来賓として、五十里一秋東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長、金森市造日学歯会長代行、高橋英登都歯連盟会長がそれぞれ挨拶をされました。

恒例により川本会長が座長となり、①第1回代議員会の開催について、②学校歯科保健優良校表彰および歯の作文募集について、③東京都学校歯科保健功労者表彰について、④平成25年度ブロック別研修会につい



て、⑤第64回関東甲信越静学校保健大会・歯科職域部会について、⑥各種大会・研修会日程について、⑦都学歯ライブラリー協力をお願い、⑧その他、が報告されました。最後に小嶋副会長が閉会を述べました。

本会のホームページをリニューアルしました

<http://www.tasd.or.jp/>

東京都学校歯科医会会員の先生方には常日頃、お世話になっております。東京都学校歯科医会が平成25年4月1日より一般社団法人として新たにスタートすることになりました。それに伴いまして、ホームページもリニューアルいたしました。今まで以上に見やすく、また会員の先生方のご意見など反映できるように努力していきたいと考えております。ぜひホームページを開いて頂きたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

広報担当理事 末高英世



トピックス////

第1回代議員会

平成25年6月6日（木）15時より、一般社団法人となつて初めての代議員会が歯科医師会館1階大会議室で行われた。

鈴木専務理事の司会のもと、由井副会長が開催を宣言し、渡邊理事より点呼が行われ、川本会長が挨拶をされた。次に来賓として、高橋哲夫東京都歯科医師会会長が、また高橋英登東京都歯科医師連盟会長が挨拶をされた。

議長・副議長の選出では町田の澤代議員より、議長に練馬の望月代議員、副議長に麻布赤坂の藤野代議員を推薦され、世田谷の神田代議員が賛成を行った。議事録署名人には神田の今村代議員、北の百瀬代議員が選出された。

次に渡邊理事が会務報告を行い、次に長沼理事より会計現況報告がなされた。ここで会長挨拶から会計現況報告までの質疑がなされた後、報告事項が承認された。

議事にはいり、

第1号議案 平成24年度事業報告及び附属明細書

第2号議案 平成24年度貸借対照表及び附属明細書、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録

が一括上程され、予算決算特別委員会報告を粕江の松浦委員長が報告し、また難波監事が監査報告を行った。

質疑の後、採決に入り、挙手多数で可決確定された。



第3号議案 役員の報酬等及び費用に関する規則の制定

第4号議案 予算決算特別委員会委員及び予備委員の選任

第5号議案 選挙管理委員会委員及び予備委員の選任

第6号議案 日本学校歯科医会代表会員及び予備代表会員の選任

それぞれ挙手多数で可決確定された。

第7号議案 役員選挙

では選挙管理会の寺田委員長より報告され、定員内ではあるが信任投票を行うため、議場閉鎖し理事・監事候補者が確定された。

第8号議案 顧問の推戴

も可決確定し、小嶋副会長が閉会を述べた。

平成25年度 ブロック別学校歯科医研修会日程

	中央ブロック	城東ブロック	城西ブロック
日時	H25年9月19日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～	H25年10月10日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～	H25年11月14日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～
会場	・台東区歯科医師会館 （台東区根岸4-1-28） ・TEL 3847-6433 ・最寄駅 ○山手線 鶯谷駅徒歩8分 ○日比谷線 入谷駅4分	・曳舟文化センター 2F （墨田区京島1-38-11） ・TEL 3616-3951 ・最寄駅 ○京成線 京成曳舟駅1分 ○東武線 曳舟駅3分	・杉並区歯科医師会館 （杉並区阿佐ヶ谷南3-34-3） ・TEL 3393-0391 ・最寄駅 府中駅 ○中央線 阿佐ヶ谷駅
演題	「学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 牧野 寛	「学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 東川輝子	「学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 長井博昭
責 任 地 区	・下 谷 大村 隆司 03-5603-8864	・向 島 三好 克則 03-3611-3096	・杉 並 小川 学 03-3329-2161

平成25年度 各種大会・研修会日程

■ 第70回 学童歯みがき大会	平成25年6月4日(月)	インターネット
■ 第64回 関東甲信越静学校保健大会	平成25年8月1日(木) 東京都新宿区「ハイアットリージェンシー東京」	
■ 第64回 “ 歯科職域部会		
■ 第77回 全国学校歯科保健研究大会	平成25年10月17日(木)・18日(金)	熊本県熊本市「市民会館崇城大学ホール」ほか
■ 第63回 全国学校保健研究大会	平成25年11月7日(木)・8日(金)	秋田県秋田市「秋田ビューホテル」
■ 第63回 全国学校歯科医協議会		
■ 平成25年度学校保健(学校歯科医)研修会	平成25年12月5日(木)	歯科医師会館
■ 学校歯科医基礎研修会	平成25年12月5日(木)	歯科医師会館
■ 平成25年度健康づくりフォーラム	平成25年12月16日(月)	都庁
■ 第48回 東京都学校歯科保健研究大会	平成26年2月27日(木)	文京シビック大ホール

会 務 報 告

4/4(木)	第1回学術打合せ会	会館
4/11(木)	第1回事業部会	会館
4/16(火)	会計打合せ会	会館
4/18(木)	第1回理事会	会館
	第1回会誌・広報委員会	会館
4/24(水)	第2回学術打合せ会	会館
4/25(木)	第1回予算決算特別委員会	会館
	東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業	会館
	選定校連絡会	会館
5/9(木)	監査会	会館
	第2回理事会	会館
	第2回会誌・広報委員会	会館
	第2回事業部会	会館
5/13(月)	第3回学術打合せ会	会館
5/23(木)	第3回理事会	会館
	第1回参事会	会館

5/27(月)	選挙管理委員会 正・副委員長打合せ	会館
5/28(火)	生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進	会館
	事業実施校連絡会	会館
6/4(火)	第70回学童歯みがき大会	インターネット
6/6(木)	第1回選挙管理委員会	会館
	第1回代議員会	会館
	第4回理事会(代議員会終了後)	会館

【訃報】

荒 川 金沢 英樹 (瑞光小学校) H25. 2. 23逝去
 蒲 田 西尾 一男 (城南特別支援学校) H25. 4. 1逝去
 上記の先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
 致します。(敬称略)

第26回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会のご案内

大会長 木野 孔司
 準備委員長 西山 暁

会 期：2013年7月20日(土)～21日(日)

会 場：学術総合センター 一橋記念講堂 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

メインテーマ：「これからの顎関節症治療を考える」

【プログラム】(抜粋)

シンポジウム2 「児童・生徒における顎関節症の診断と治療」

講師：神林 秀昭(神林歯科医院) 東京都学校歯科医会 会誌・広報委員会 委員

「学校歯科健診からみた顎関節診査の現状と課題」 佐藤 文明(佐藤歯科医院)

「学校歯科健診における取り組み」 小野 芳明(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
 口腔機能再構築学系 口腔機能発育学講座
 小児歯科学分野)

「小児歯科からみた顎関節症の診断と治療」

座長：高野 直久(高野歯科医院) 東京都学校歯科医会 理事

詳しくは第26回大会のホームページ(<http://web.apollon.nta.co.jp/jstj26/>)に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。